

EBLM 委員会報告

2009年12月9日

委員長 市原 清志

報告内容

1. EBLM 委員会企画 第1回応用データ解析研究会の開催

テーマ：「新しいデータ解析技術の臨床検査医学への応用」

日時：平成21年4月4日（土）午後3時40分～6時40分（3時間）

場所：山口大学医学部S5教室

- 1) 構造方程式モデリングによる病態と臨床検査成績の因果解析

大阪大学医学部 山西 八郎

- 2) グラフィカルモデリングの臨床検査への応用（60分）

虎ノ門病院 稲田 政則

総評：日本臨床検査自動化学会春季大会の際に実施、同学会に参加者にのみ通知をしたため、参加者は約20名余りであったが、新しいデータ解析技術の意義について、活発な議論が行われた。

2. 第2回 EBLM 委員会の議事

日時：平成21年4月4日（土）午後7時～

場所：山口大学医学部保健学科会議室

参加：市原、山西、稲田、石田、片岡、吉野

議事：1) EBLM のためのデータ方法論のリストアップ（資料1）

- 2) アジア地域基準範囲共同プロジェクトの成果のEBLMのための活用法

- 3) 第2回EBLMセミナー（第56回総会時）の開催について

3. 第3回 EBLM 委員会の議事

日時：第56回日本臨床検査医学会総会会期中

平成21年8月28日（金）午後3時から1時間半

場所：札幌コンベンションセンター

参加：市原、西堀、石田、片岡、三宅、山西、稲田、吉野

議事：1) EBLM 委員会の活動の基本指針の確認

- 2) ターゲットするデータ解析技術（別紙1）について討議

- ・吉野委員が、次回までに主な技術の実用例を調べる

- ・年会時に、ワークショップを開催し、新技術の紹介をはかる

- 3) アジア地域基準範囲共同プロジェクトの結果を、Web ページでの公開を計る

4. EBLM 委員会企画教育セミナーの開催

テーマ：「第2回：臨床検査医学のための多変量解析入門」

日時：第57回日本臨床検査医学会総会会期中

平成21年8月29日（日）午前9～15時（5時間）

場所：札幌コンベンションセンター

参加者：43名

内容：講義＋演習（ノートPC持込）

1) 臨床検査医学における研究デザインと偏り（60分）

山口大学医学部 石田 博、同工学部 山下哲平

2) 重回帰分析の理論と臨床検査の変動要因の解析（140分）

山口大学医学部 市原清志、同工学部 山下哲平

3) 多重ロジスティック分析の理論と臨床検査の診断特性の解析（110分）

大阪大学医学部 山西八郎

評価：受講者によるアンケート調査結果は好評であった（別紙 2-1, 2-2：回答率 31/43）が、もともと、数理的には高度な内容であり、理解を深めていただくためのさらなる工夫が、次年度以降の開催では、必要と考えられる。